

浅間台

松戸市立第二中学校

令和4年度 8月号

＜「千里の行も足下に始まる」～大きなことも身近な一歩から～＞

校長 佐野 公雄

7月18日（月）、読売新聞の1面「編集手帳」（下の写真）が、心に残りました。

9歳の少女が、父親の事故をきっかけに近所のAED（自動体外式除細動器）の設置場所を調べた夏休みの自由研究が、偶然に別の人を救うことに繋がった話です。もし、この自由研究がなかったら、母親は120m先にあるAEDの場所を知らず、この作業員は助からなかったかも知れません。少女の行動が、ひとりの作業員の命とその家族を救ったのだと思います。彼女自身、自分の自由研究がこのような形で人を救うことになるとは想像してなかったのではないのでしょうか。

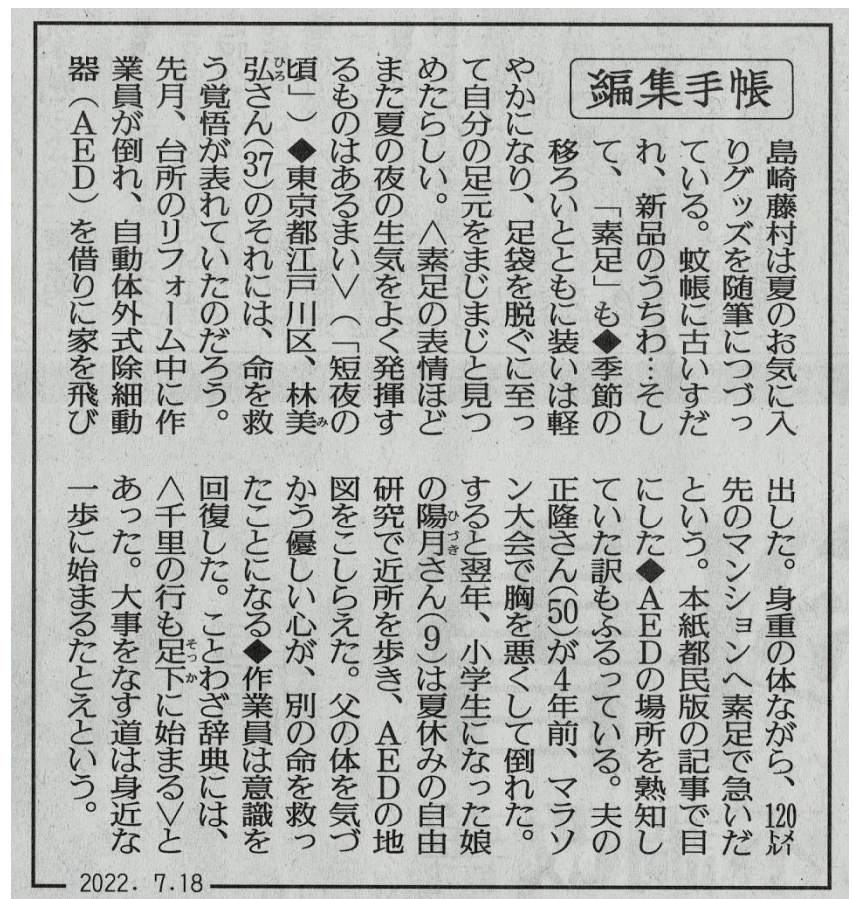
疑問に思ったことや知りたいと思ったことをしっかりと調べた少女の行動から、あらためて身の回りの小さなことでも見逃さず、「あれ?」「どうして?」「どうなってるの?」という心の疑問を、そのまま終わらせないようにしたいと感じました。

＜千里の行も足下に始まる＞は、老子のことばですが、「千里という長い道のりも足もとの一歩から始まる」ということから発して、「どんなに大きな事業でも、まずは手近なことの実行から始まるということ。何事も一歩一歩着実に進めることが大切だということ。」を示唆しています。

この『浅間台』の令和4年度4月号で紹介した「第一歩」という詩は、大きな目標へつなげる一歩の覚悟・重みを表していますが、老子の「足もとの一歩」は、将来の夢や目標に直接つながらないかもしれないが、「身近なこと、今できること、やるべきことをコツコツと一歩ずつ積み重ねること」が、やがて大きなことを成し遂げる基礎となることを示しています。

夏休みは、そのコツコツと積み重ねることができる貴重な時期です。

これまで不思議に思ったけどそのままにしていたこと、読みたいと思っていたけど時間がなくて読めなかった本、やってみたいと思っていたけどできなかったことなどに挑戦し、知識や経験値を高めていってください。



中学生へメッセージ!!

『新しいことへ「CHALLENGE」しよう!』～有意義な6週間で～

いよいよ6週間の夏休みが始まります。ここに来て、新型コロナウイルス感染症が再び拡大してきており、感染対策への意識はより強固にしなければなりません。そのなかでも、やれること、やらなければならないことをしっかりと捉え、有意義に過ごして欲しいと思っています。

中学生には、自分の将来の夢の実現に繋げるために、新たな自分の才能を見つけるチャンスとして、この大型連休を有効に使って欲しいと思います。夏休みの計画は、すでに立てていると思いますが、ぜひ、これまでやりたかったこと・やろうと思っていたが時間が取れずに後回しにしていたことに「CHALLENGE（チャレンジ）」するチャンスと捉えてください。

中学生は、心も体も急速に成長する時期です。この時期だからこそ、その成長に見合った目標を定め、計画を立てて、こつこつと実践していくことが大切です。そこで、計画通りにいかないときに、自分はダメだと落ち込むことは必要ありません。できなかった原因を振り返り、そこからより自分に合った計画に改善すればいいのです。また計画がうまく進んでいる時は、自分で自分を褒めてあげましょう。勉強・スポーツ・趣味など、自分の成長に繋がる何かに、真剣に取り組む、それを最後までやり遂げられた時、「自分はできるんだ」という自信を持って、どんなことにも「CHALLENGE」していくことができるようになるのです。



そこで、価値ある夏休みを有意義に過ごすために、次の4つの習慣を心がけてください。

1 毎日、決まった時間に起きて、決まった時間に寝ること

・時間を有効に使うためには、1日の活動時間（自分の自由時間）を確保することが大切です。起床時間を習慣化させ、寝不足で翌日の活動に支障をきたすことのないよう、睡眠時間をしっかり確保しましょう。

2 朝食・昼食・夕食を、毎日しっかり食べること

・健康でなければ、やりたいこともできません。特に暑い時期の栄養摂取は重要です。三度の食事をしっかり摂ること。冷たいものばかり食べて体調を崩さないことです。

3 家族の一員として、家の中の仕事を、何か役割を担い、実行すること

・みんなもいつか自分のこと全てを、自分でするようになります。この機会に、家の仕事を、できるだけ手伝いましょう。今まで自分がいかに家族に支えられてきたかを実感できますし、みんなの頑張る姿が、家族の活力になっていくでしょう。

4 読書の習慣を身につけること

・読書は、普段経験できないような物語を疑似体験することができ、いろいろな人の考え方や価値観を知ることができます。まさに、座ってできる体験学習です。ぜひ、多くの書物に触れ、多くの体験をして、自分の可能性の幅を広げてください。

夏休みは、自分で自分を高めるために「CHALLENGE」するときです。2学期には、何かを手に入れて、ひと回りもふた回りも大きくなったみんなと再会することを楽しみにしています。